

平成23年
(2011年)
春号

大津・南部の農業

発行
滋賀県大津・南部農業農村
振興事務所農産普及課
草津市草津三丁目14-75
TEL 077-567-5421～5423
FAX 077-562-8144
メールアドレス ga35@pref.shiga.lg.jp
発行責任者 若井 英太郎

この印刷物は古紙/パルプを配合しています

目次

- 新規就農者の力をいかして生産量が増えているモリヤマイチゴ……………1
- 花づくりにチャレンジしてみませんか・イチジク栽培はいかがですか……2
- 安全な農作業を心がけてください！・基本技術の徹底で濁水ゼロを！！…3
- 全国生活研究グループ連絡協議会全国会議滋賀大会が開催されました！…4



写真はJAおうみ富士の特産品「モリヤマイチゴ」についての取材の様子です。モリヤマイチゴは年末年始の贈り物として根強い人気がありますが、生産者の高齢化等により、需要に答えきれていませんでした。しかし、今年度は、生産者の部会で出荷基準を見直すとともに、新たな会員が加入したことにより出荷量が増加しています。

また、近年増えている新規就農者が選択する品目もいちごが多く、ほとんどが自分で販売したり直売所出しをされています。

いちご以外にも、直売所では野菜は人気商品で、新たな生産者からの出荷が期待されています。県でも野菜生産を推進していますので、お気軽にご相談ください。

花づくりにチャレンジしてみませんか

近年、直売所の数も増え、お米、野菜、果樹だけでなく地域の伝統食品等品揃えも多くなっています。また、花では家庭で日常的に飾る「ホームユース用切り花」の需要が拡大していることから、今後直売所でもさらに販売が伸びることが予想されます。下表に初めての方でも比較的簡単に栽培できる切り花の作付け体系をまとめてみました。ぜひチャレンジしてみませんか？

表. 作付け体系(凡例… ○: は種 ↑: 挿し芽 ◇: 仮植 ◎: 定植 □: 収穫)

品目	作型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
アスター	露地				○	◎	—	—	□				
金魚草	ハウス	□						○	◇	◎	—	—	□
けいとう	露地				○	—	—	—	□				
ストック	ハウス							○	◎	—	—	—	□
トルコギキョウ	ハウス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	◎
なでしこ	露地	—	—	—	—	—	—	—	—	○	◎	—	—
盆咲き小ぎく	露地				↑	◎	—	—	□				
グラジオラス	露地			◎	—	—	—	—	□				

いちじく栽培はいかがですか

いちじくは手で皮をむいて手軽に食べられ、糖分以外にカリウムやカルシウム、食物繊維なども摂取できる果物です。

管内では栗東市 守山市、野洲市を中心におもにハウス栽培で2.4haほど栽培され、市場や農産物直売所等に出荷されています。いちじくは樹高が低く管理しやすい「一文字仕立て」が可能です(写真)。日当たりとできるだけ排水の良い場所を選び、うねを立て樹間



いちじくの一文字仕立て

6m、列間2.2mを目安に植栽します。生育が良好であれば3~4年後に成園並みの収量(約2t/10a)が見込めます。ハウス栽培では7月下旬~10月に収穫でき、販売先の確保は必要ですが、平均でキロあたり600円程度の販売単価が見込めます。果実は傷つきやすく日持ちがしないので、ていねいに収穫し速やかに出荷します。年間5~7回程度の病害虫防除、鳥害対策、場合により獣害対策が必要です。

安全な農作業を心がけてください！

春作業におけるトラクター、田植機の事故の多くは転倒や転落によるものです。死亡・重傷事故を起こさないために、安全装備を備えた機械を利用するとともに、取扱説明書をしっかり読み、機械の特徴を十分把握することが大切です。

★転倒・転落事故の主な原因

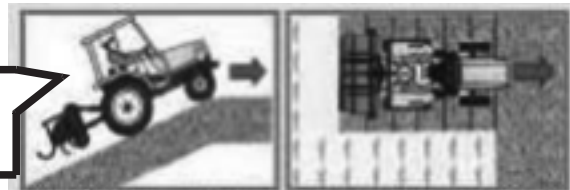
●片ブレーキによる急旋回

ほ場から出る時は、
左右独立ブレーキは必ず連結する。



●ほ場から出るときの前輪浮き上がり

ほ場から出る時は、作業機を
下げて、傾斜に対して直角で。



刈払機による事故も多く発生しています。飛散した石が目や手足に当たる、作業中に誤って刈刃が身体に当たる、傾斜地などの足元が不安定な場所での草刈中の転倒など様々です。保護めがね、飛散物防護カバーは必ず装着し、足元や周囲の状況をしっかり確認して作業を行ってください。

無理な作業計画は事故の元です。今年も心と身体に余裕をもって作業を行ってください。

基本技術の徹底で濁水ゼロを！！

農業濁水対策のポイントを紹介します。今年も濁水が水路に流れないように下記技術の励行をお願いします。



畦畔からの漏水防止に畦畔シートや畦塗り作業を！



代かき前に畦際をトラクタの後輪で2～3回踏み、土を締める



代かきは浅水で
周囲からていねいに

- 入水前に尻水戸を水戸板と土でふさぐ
- 排水路に水が漏れていないか確認する
- 浅水代かきのため、必要以上に水を入れない
- 田植え前などに、強制落水は絶対にしない
- 水田ハローなどを使い、浅水で均平する

全国生活研究グループ連絡協議会全国会議滋賀大会が開催されました！

1 全国の生活研究グループ員が滋賀県に集合！

平成22年10月20日～21日、地産地消や食育などについて情報交換するため開催され、全国の生活研究グループ員や関係者約450名が参加されました。1日目は、琵琶湖グランドホテルで全体会、2日目は、各地域で現地研修が行われ、地元グループ員の活躍により管内では、大津地域と南部地域で受け入れを行いました。

2 大津地域コース

大津コースでは、JAレーク大津グリーンファーム堅田店を見学後、北比良の畑（屋外）で比良山の雄大な景色を背景に、よし笛コンサートと昼食交流会が催されました。その後、近江舞子に移動し、ピーナッツ掘り体験が行われました。交流会ではより多くの地元グループ員が参加者と交流できるように、席の配置を工夫したこともあってか、「おもてなしの心が伝わる」「本当に美味しい」「このお惣菜はどうやって作るのか」などの声を直接聞け、心温まる交流ができました。



よし笛コンサートと昼食交流会

3 南部地域コース

南部コースでは、まず近江舞子でピーナッツ掘り体験、次にJAおうみ富士ファーマーズ・マーケット「おうみんち」の見学、そして、湖南アルプスの麓、美之郷農産物加工施設で地元食材を多く取り入れた手づくりのお弁当やグループの活動紹介によって昼食交流会が行われました。県外参加者からお礼や拍手をもらい、地元グループ員は今までの苦勞が報われる思いをかみしめていました。



手づくり弁当と美之郷加工施設での交流会

4 今後に向けて

この貴重な経験を糧に、地域の食文化伝承や地産地消・食育活動の担い手として、大津地域・南部地域のそれぞれのグループ員のますますの活躍が期待されます。